

呉市倉橋町「お宝とまと」販売額 2 億円突破

【平成 29 年 10 月 6 日掲載】

呉市倉橋町の「お宝とまと」を生産している倉橋町施設野菜生産組合（立花達也（たちばなたつや）組合長，構成員 10 戸，1 法人，栽培面積 3.6 h a）の平成 28 年産トマト販売額が，初めて 2 億円を突破しました（出荷期間 H28. 12 ~ H29. 7）。

これは 8 名の担い手が，栽培開始時に目標販売金額と栽培改善対策を明確にし，圃場巡回や各自が測定した生育データをもとに栽培管理の確認や今後の管理について定期的に意見交換等を行うことで収量が増加し，販売額が前年度より約 1,000 万円増加したことによるものです。

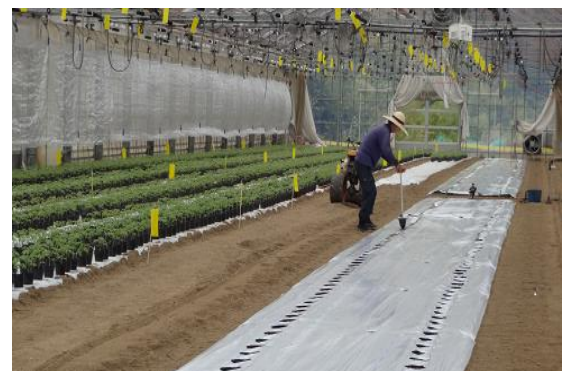
平成 28 年 8 月，組合は，10 年後（平成 38 年）の販売額 2.5 億円を目標とした「お宝とまと産地計画」を策定し，「栽培技術向上」，「規模拡大」，「人材育成」及び「情報発信」を柱とした年次別の具体的な計画に基づいて取組みを進めています。

平成 29 年 8 月 23 日に開催した「お宝とまと産地戦略会議」で平成 28 年作の実績，課題を組合員全員で確認しました。また，新たな取組の発表や次作の更なる収量増加，品質向上に向けた新技術の導入，ベテランから担い手に向けた取組提案などについて活発に意見交換を行い，このことが産地の原動力になっています。

平成 29 年作の定植は，9 月 20 日頃から始まりました。担い手を中心とした更なる産地振興を重点的に支援していきます。



【産地戦略会議で取組を発表する担い手】



【定植の準備を行う担い手】

情報提供元

西部農業技術指導所